

# 農林水産団体からの情報収集・分析結果概要

## 林業

- 山腹や林道等、インフラの崩壊や鳥獣被害等が発生しており、豪雨・多雨等、気候変動影響によることを確認
- 適応策として、排水対策、治山事業、鳥獣用の防護柵設置等が必要

	主な影響とその要因 (●:科学的妥当性が確認できたもの、▲できなかったもの)	取り組むべき適応策
スギ・ヒノキ (クヌギも含む)	山腹・林道の崩壊(豪雨・多雨) ● 鳥獣被害(シカの生息域拡大●、気温の上昇▲)	排水対策、治山事業 防護柵等の設置、個体群の管理
シイタケ	発生不良(気温の上昇)▲ 鳥獣被害(サルの生息域拡大●、気温の上昇▲) 菌糸の高温障害(気温の上昇)●	散水設備の整備、高温耐性品種の導入 防護柵等の設置、個体群の管理 寒冷紗の使用
タケノコ	鳥獣被害(イノシシの生息域拡大●、気温の上昇▲) 生育不良(少雨、日照不足)● 発生時期の変化(気温の変化)●	防護柵等の設置、個体群の管理

本事業は「環境省 令和2年度国民参加による気候変動情報収集・分析委託業務（愛媛県）」により実施したものです。